

令和4年度シラバス（産業社会と人間）

学番28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	産業社会と人間	単位数	2単位	学年	1年次
使用教科書	産業社会と人間（学事出版）				
副教材等	特になし				

1 学習目標

自己の生き方を探求させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通して、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。

2 指導の重点

- ①自己理解（自己分析のための視点作り）
- ②職業理解（ライフプラン作り）
- ③社会認識（地域学習）
- ④履修計画作成（高校生活のモデル構築）

3 指導計画

月	指導単元	指導内容	時間	評価のポイント
4	オリエンテーション	産業社会と人間の内容・目的について	4	<ul style="list-style-type: none"> ・産業社会と人間の内容や目的について理解し、意欲的に学ぼうとしているか。 ・自分自身を見つめ、高校生活の過ごし方を考えることができたか。
	講演会① 新入生意識啓発講演会	進路目標や高校生活のあり方について	2	
	系列授業見学	2・3年次生の系列授業の見学 将来の進路を考え系列を選択	2	
	第1回系列希望調査			
5	講演会② 進路講演会	職業理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科の特徴について理解したか（単位修得方法や進路目標の設定ができたか）。
	各教科科目説明会	系列・科目選択について	2	
6	講演会③ 進路講演会	学習習慣形成支援講話	2	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にコミュニケーションをとり、自己を表現しようとしているか。 ・自己の将来、なりたい職業を見据えて、系列を選択することができたか。
	コミュニケーションスキルについて	人とつながるための力を実践形式で理解する	2	
	職業理解 マイナビ	働くことの意義	2	
	第2回系列希望調査			
7	職業理解	タブレット端末による調べ学習	2	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味について考え、理解したか。
	学校説明会	マイナビ進学ライブ参加	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職業につながる上級学校の特徴を知ろうとしたか。
8	職業調べ発表準備	発表資料の作成（2分程度）	2	<ul style="list-style-type: none"> ・職業インタビューを発表資料にまとめる。

9	職業調べクラス発表	発表資料の発表（2分程度）	2	・学んだことを発表し相互の発表をまとめ意見交換。
	高大連携講話	農業の現状と課題について	2	・農業の産業の特徴と課題について理解したか。
	国際理解 JAICA 出前講座	国際理解について	2	・国際的な視点にたち職業や社会貢献活動について理解したか。
	地域理解	タブレットによる	2	・村上地域に現状と課題を調べまとめる。
10	実力診断テスト	国・数・英	2	
	上級学校見学	大学などに実際に足を運び、見学事前に下調べをする。 事後は感想などをまとめる。	6	・上級学校の種類と特徴について理解したか。 ・大学、短大で学ぶ意味を理解したか。
11	地域理解	地域の人口減少問題について	2	・地域の現状と課題について理解したか。
	地域理解	男女共同参画社会について	2	・男女共同参画社会について理解し、自身のあり方について考えることができたか。
	大学模擬授業	自分の希望する分野の大学の授業を体験する	2	・大学の講義と高校の授業の違いを知ることができたか。
	作文・小論文指導	文章表現のルール 作文・小論文を書く	2	・文章表現の正しいルールに従って、自分の考えを的確に表現できたか。・現代社会の抱える問題とそれを解決するための手段について理解できたか。
12	SDG s ワークショップ	SDG s について	2	
	ライフプラン	ライフプランを考える	2	
1 ～ 3	課題テスト	国・数・英	2	・社会的課題も踏まえ、自身の将来のあり方について意見文にまとめることができたか。 ・他者の生き方についての考えを深めることができたか。
	実力診断テスト	国・数・英	2	
	意見文作成	自分の将来について具体的に考え、ライフプランを考え、意見文にまとめる	2	
	意見文クラス発表会	意見文の発表	6	
	意見文年次発表会	クラス代表による意見文の発表	2	
	まとめ	1年の学習の振り返り	2	

計 70 時間（50 分授業）

4 課題提出物等

課題	・社会人インタビュー（夏季休業中）
提出物	・教科書 ・レポート

5 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	働くことの意義、様々な職種・産業、進学し学び続けることの意義を知り、高校時代の学びの大切さを理解している。	自分の興味や適性に応じて進路を考え、それに応じた科目選択を行おうとしている。また、自らの考えを、学級内発表や作文・小論文等により適切に伝えることができる。	産業社会に関心を持ち、意欲的に問題に取り組んでいるか。それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組もうとしている。
評価方法	・授業への取り組み（授業態度、出席状況、学習活動への参加状況） ・提出物（産社ノート、レポート等） などから、総合的に評価します。	・授業への取り組み（授業態度、出席状況、学習活動への参加状況） ・提出物（産社ノート、レポート等） などから、総合的に評価します。	・授業への取り組み（授業態度、出席状況、学習活動への参加状況） ・提出物（産社ノート、レポート等） などから、総合的に評価します。

5

6 担当者からの一言

<p>この「産業社会と人間」という科目は、高校で、なんのために学ぶのか、なにに向かって学ぶのかを考えるための科目です。国語や数学などのように、決まった答えがあるわけではありません。先生が答えを教えてくれるわけでもありません。答えは、あなた自身が考えるのです。</p> <p>あなたの高校生活が、よりよいものになることを期待しています。</p>
